

市民発の 市民発の 教育通信

—編集・発行—
教育委員の公選制を
めざす市民会議
(連絡) 大塚岳史
石原区西院中水町46
オミ洛西社

度検討委員会から高校三原則(小学区制・総合制・男女共学制)を見直すという最終答申が府教育長に提出されました。答申は「特色ある学校づくり」を看板にして「個性や関心に応じた教育をする」と書いています。そこでいますが、この制度改变が本当に子ども一人一人を大切にするものと言えるでしょうか? 私たちは否ともえます。なぜなら、例えば次のように思えます。それは、もし、この答申通りになれば数十のコースから高校を決めねばなりません。これは一見、選択の自由があるように思えますが、現在の小学区制の下でも、子どもの興味・関心というよりは、

成績・偏差値によって公立か私立か、普通科か職業科か、全日制か定時制かの学校選択がせられることが多いですから、数十のコースが考えられるといふことは、それだけ細かく輪切りされ、不本意な入学を激増させることになるでしょう。この結果、自分の将来に展望を失い、無気力化する子どもの数が増えてしまうのは明白です。これが本当に個性尊重と言えるでしょうか。

「教育委員の公選制をめざす市民会議」が発足しました。この市民会議は教育委員を住民が選ぶ公選制の実現を通して、教育に市民の声をより反映させていくことをめざしています。現在京都では高校制度変更が問題になっていますが、私たちはこのままにしてしまってはいけません。これが本当に中学生の立場から、高校生の生活をすさんだものにしていく危険があるとの立場から、

最終答申をどう見るか



高校三原則

このような教育は望むべくもありません。

現在、府教委は「改革

60年度実施をゴリ押ししようとしています。

これに対し、実際に8割以上の高校現場が反対の意向を示しています。

私たちは何が子どもに大切なのか」という観点から、常に教育内

容の問題として今後の推移を見つめていくこ

教育を市民の手に。

高校三原則の改悪許さない市民集会
3月17日(土) 2:00~5:00
毎日ホールにて(三条寺町西入ル)
会場料: 300円
現場教師、主婦、学生などなど。
市民みんなで三原則を盾して教育に
ひびきの率直な意見を交換しようと思
い。(袖岡)

連絡: 075-XXXXXX

これに反対する運動を続けてきました。その中で現実の教育において教育委員会、教育行政の果たす役割の重大さを知ると同時に、その住民無視、官僚主義的運営に深い憤りを感じました。現在の人間にふさわしいものへと教育を作りかえるには教育委員会、教育行政の変革が必要であり、公選制の実現はその変

公開学習会のあらせ
* 3月 24日(土) 2:00~5:00
* 京都YWCA 1F(京都市中野区出水上ル)
* 東京都中野区の教育委員の津公選制についてやります。
* 連絡: 市民会議 075-XXXXXX(大塚)

通信の定期講読をお願いします。半年千円でそれなく通信をお送りします。(連絡は大塚まで)

具体的には公選制を広く訴え、教育が今までなつていてるのか、普通の市民の教育への声を集めめて作る、この「市民発教育通信」の月刊発行と学習会をぼちぼちながらやり始めました。

ここに教育委員の公選制をめざし、ささやかながらも活動を開始しました。革への突破口になると期待から、私たちはここに教育委員の公選制をめざし、ささやかながらも活動を開始しました。

